

医療法人応篤会の変更前計画

(R2.6.30 地域医療構想調整会議資料)

病院の移転及び改築計画について

医療法人 応篤会（理事長 枝川 篤永）（以下「当会」という）は、現奈良東九条病院（以下「現病棟」という）について、下記場所に回復期60床の病院を新築・移転（以下「おうとく会病院」という）し、現病棟を32床の慢性期病棟に改築・開院（以下「なら東九条病院」という）することを計画しています。

以下、本計画について、ご報告申し上げます。

1. 地域医療構想の達成を踏まえ、当会が今後、地域において担う役割、機能

- ① 当会は、「おうとく会病院」を神殿町、「なら東九条病院」を東九条町に新築・改築し、東九条町・神殿町を中心とする地域の医療・福祉・介護の包括的なネットワークのコアとしての役割を担う病院を目指しています。
- 当会の1次医療圏として想定する地域（以下「当会1次医療圏」という）

町名別・年齢別人口及び世帯数				令和2年4月1日 現在			
町丁名	世帯数	区分	総数	年齢別内訳			
				15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上
東九条町	3,810	男	3,419	312	2,001	1,106	445
		女	3,804	322	1,998	1,484	695
		計	7,223	634	3,999	2,590	1,140
神殿町	2,020	男	2,128	253	1,262	613	283
		女	2,242	251	1,233	758	357
		計	4,370	504	2,495	1,371	640
合計	5,830	男	5,547	565	3,263	1,719	728
		女	6,046	573	3,231	2,242	1,052
		計	11,593	1,138	6,494	3,961	1,780

② 「おうとく会病院」の役割

「おうとく会病院」は、令和4年4月に開院・移転し、ポストアキュート・サブアキュートとして、急性期経過後に引き続き入院医療を必要とする患者及び在宅や介護施設等において症状の急性増悪した入院治療を必要とする患者の受け入れを行うと共に、人工透析及び外科・整形外科・内科・泌尿器科の外来を行い、当会1次医療圏に根差した「面倒見のよい病院」として、地域の医療ネットワークのコアの役割を果たす病院を目指します。

このために、移転・新築により、より機能的且つ便利で、必要な医療を提供できる施設・設備を備えることが、必要であると考えます。

③ 「なら東九条病院」の役割

当会1次医療圏では、前出表にあるように、65歳以上の高齢者が三分の

一を占め、後期高齢者が1,780名となっています。本地域では、医療が必要な長期療養を要する患者を受け入れる施設が求められています。

当会では、地域医療構想調整会議での議論を経て、医療法人湧水方円会稲田病院から経営譲渡を受けたいと考えています。

閉院した稲田病院は、急性期病床32床でしたが、当会に経営譲渡後は、現病棟に移転を行い、日常生活上必要な医療処置を行うとともに、充実した看取りを行うことができる32床の慢性期病床の病院をなら東九条病院として、高齢者の多いこの地域での役割を果たすことを目指しております。

当会は、旧稲田病院からの経営譲渡にあたり、カルテ約1万件及びX線データ並びに医療機器・備品を引継ぎすると共に、カルテの患者様宛に、現東九条病院が旧稲田病院の医療を引き継ぐことを通知し、切れ目のない医療の継続を行いたいと考えています。

尚、現稲田病院の建物は、耐震構造上当会「なら東九条病院」として開院することが出来ないため、移転後の現病棟を改築して「なら東九条病院」を開院することと致しました。「なら東九条病院」は、「おうとく会病院」の開院・移転後、現病棟を改築し、令和5年4月に開院します。何卒、ご理解頂きます様お願い申し上げます。

④ 機能について

「おうとく会病院」は、1病棟にて回復期60床（個室4室、4人部屋14室）、診察室6室、手術室2室、人工透析室（6床）、リハビリテーション室、X線室2室、CT室、MR室、内視鏡室・生化学検査室、救急処置室・薬局等を配置する。

外来診察科目は、外科・整形外科・内科・泌尿器科を予定しています。

「おうとく会病院」に配置する医師（常勤換算）8人、配置する看護師（常勤換算）34人

「なら東九条病院」は、1病棟にて慢性期32床（個室16室、2人部屋8室）、診察室1室、X線室、人工透析室（4床）、リハビリテーション室、処置室、薬局等を配置する。

「なら東九条病院」に配置する医師（常勤換算）2人、看護師（常勤換算）8人、看護助手職員（常勤換算）9人

⑤ 医療福祉介護エリア構想について

当会「おうとく会病院」・「なら東九条病院」をコアとして、住宅型有料老人ホーム、介護施設、クリニック、薬局、保育園等と協働して、ライフサイクルに合わせた、医療・福祉・介護を提供できる「医療福祉介護エリ

ア」を作って参ります。医療情報等を患者様の了解の下、共有して、均質・効果的な医療を参加する施設から受けられる安心で安全な地域にして参ります。

● 「医療福祉介護エリア」構想

- ・住宅型有料老人ホーム（新築50～70室、事業主体；リールステージ）
- ・介護施設（【既存】おうとくケアセンター、デイサービス15名・ショートステイ20名）
- ・クリニック（第一病院敷地に新築予定の商業棟2階に診療所2室設置予定、開設者・診療科目等はこれから選定）
- ・薬局（第一病院敷地に新築予定の商業棟1階に調剤薬局・ドラッグストアが開設予定、事業主体；ファーマライズ）
- ・保育園（企業主導型保育園を新設予定）
- ・当会1次医療圏にあるクリニックの皆様は今後協力を要請して参ります。

2. 地域の病院間での役割分担について

- ① 当会の役割・機能は1.の通りですが、「おうとく会病院」では、外来・入院医療と共に、在宅医療を積極的に行って参ります。1.⑤にある住宅型有料老人ホーム及び介護施設はもとより、現在行っているリールステージ施設への訪問診療を拡大し、併せて、当会1次医療圏の方への在宅診療を積極的に行って参ります。
- ② 2次医療圏では、「おうとく会病院」は、ポストアキュート・サブアキュートとして、急性期病院（奈良県総合医療センター、市立奈良病院、天理よろづ相談所病院等）からの受入れ、連携するクリニック（おうとくクリニック、森本クリニック、谷掛整形外科等）からの要入院患者の受入れを行って参ります。併せて、当会おうとくクリニックの人工透析患者にて入院加療を要する患者の受け入れを行って参ります。
- ③ 「なら東九条病院」は、長期療養を要する患者を他病院から受け入れて参ります。併せて、介護施設入所者で医療の必要性の高い方を受け入れて参ります。
また、今後の2次医療圏における緩和ケア病床やターミナルケアの必要性に応じ、「なら東九条病院」は他の病院と連携して、地域において必要とされる機能・役割を果たして参ります。

3. 地域における連携推進などの取り組み方針について

- ① 前記1. ⑤「医療福祉介護エリア構想」にあるように、当会1次医療圏において、出生—成長—成人—家族—高齢化—終末のライフサイクルにおける必要に応じた医療福祉介護を提供していくための包括的なネットワークを構築することを目標としております。
- ② このため、当会1次医療圏内の居住者について、検診・医療情報を共有し、協働する施設間における情報共有と役割分担の合同カンファレンスを通じて、病院—診療所—薬局—保育園・介護事業者・ケアマネ間において、シームレスな対応が出来るネットワーク構築が必要であります。
- ③ 在宅医療を行っていく上で、いつでも安心して相談できること、介護する方の負担軽減のためのレスパイト入院を提供すること、が必要であり、「おうとく会病院」・「なら東九条病院」ともに対応して参ります。

以 上

地域医療構想の達成に向けた具体的な計画

「おうとく会病院」(現東九条病院)

		現 在		移転後	増減
高度急性期		床	→	床	床
急性期	重症急性期	床		床	床
	軽症急性期	床		床	床
回復期		60床		60床	0床
慢性期		床		床	床
(合計)		60床		60床	0床

「なら東九条病院」(現稲田病院)

		現 在		移転後	増減
高度急性期		床	→	床	床
急性期	重症急性期	床		床	床
	軽症急性期	32床		0床	▲32床
回復期		床		床	床
慢性期		床		32床	32床
(合計)		32床		32床	0床